ことばと発達のサポートルーム

# ゆうき

甲府市立善誘館小学校
通級指導教室　№ ３
２０１８年　９月１８日
TEL　２３２－３９６３
FAX　２３２－２４０３

朝晩の涼しさに少しずつ秋を感じられるようになってきました。さて今回は，吃音（きつおん）について，基本的なことをまとめてみます。

## 吃音（どもり）とは・・・

・以前は「どもり」と言われていましたが，理解が進むにつれて，呼ばれ方も変化してきており，現在では，吃音や小児期発症流暢性障害と言われています。
・解明できていない部分が多いのですが，右脳と左脳が過干渉を起こす際に起き，「利き手を直したから」「怒られすぎたから」など，周囲の方の関わり方が原因で吃音になることはないということが分かってきています。
・ことばの繰り返しが始まってから，三年ぐらいの間に自然に消失することもありますが，大人になっても吃音が持続することもあります。
・吃音があっても，周りの理解があればどんな職業にも就くことができます。

**◎吃音（発語のタイミングが合わないこと）の症状**

＊ 連発性・・・最初の音を繰り返す。（タイミングが早い）
「ぼぼぼくね・・」「がっがっこうでね」など
＊ 伸発性・・・言葉を引き伸ばす。（タイミングが遅い）
「ぼーーーくね」「おーーかあさん」
＊ 難発性・・・音がつまって出にくい。（タイミングが合わず，喉に力が入る。）
「・・・ぼくね」「・・・おかあさん」
＊ その他・・・手足で拍子をとる，弾みをつける，顔をしかめる，など
（動作でタイミングをとろうとする）
心理行動面・・・話さなければならない場面を避ける，どもることばを避け他のことばを使う，など。

## まわりの方にお願いしたいこと ～どもってもどんどん話せるように～

**（１）安心して話せる雰囲気をつくってあげましょう。**

○吃音を直したい，と思っても，態度には出さずにお子様と接し，会話の楽しさを感じさせてあげてください。どもることを心配せずに伸び伸びとすごせます。

**（２）最後まで話を聞き，「一生懸命話してくれてうれしい」と伝えましょう。**

○機会があったら，どもらずに話している勇気を誉めてあげてください。「もっとゆっくり」とか「もう一度」などの話し方を注意することはやめましょう。スラスラ音読できたり話せたりしたときに，ほめることもやめましょう。「この次もどもらないように」というプレッシャーを与えることになります。

**（３）話し方よりも，内容に注意を向けてください。**

○「面白い話だね」「もっと聞かせて!」と，子供の話に共感する態度が話す意欲を育てます。

（４）どもることを友達が気にしたとき・・・

〇発達段階によって，説明のしかたはいろいろありますが，「〇〇さんは，言いたいことが頭の中にいっぱいあるからだよ」「話し方の癖で，わざとじゃないよ」など，特別な見方を軽減させるようなことばがけをしてください。吃音を笑ったり真似したりするような態度が見られた場合は，毅然とした態度でそれを否定し，よくないことだと伝えてください。

（５）学校や園の先生に吃音について理解してほしいとき・・・

〇吃音についての教室だよりやリーフレットがありますので，御相談ください。

## サポートルームではこんなことを指導します

### ３歳頃から低学年頃まで

この時期にまわりで「大変だ」「どうしよう」という対応をすると，本人はますます不安になり二次障害を起こしやすくなります。御家庭や園・学級など，周囲の環境を整えることが第一となります。

サポートルームでは，まず，適切な言語環境をつくるために，保護者との話し合いを行います。本人とは，ことば遊びやゲーム，遊びを取り入れ，子供の気持ちを解放させていきます。ゆっくりと優しく話しながら，「話し方」の見本を示します。たとえどもっても，安心してコミュニケーションが楽しめる状況を作ります。

### 中学年から高学年まで

気持ちの解放と安定を心がけながら，状態によっては直接的な指導に入ります。吃音について学習し，自分の吃音についての理解を深めます。ことば遊びやゲームを通して，話すことや伝えることの大切さや楽しさを実感できるようにします。本人との話し合いの中で，本読みや発表の練習をすることもあります。場合によっては，グループ指導も行います。

本人も自分の話し方を意識しています。会話では，話し方ではなく，話す内容に共感し，自分の思いを表現できたという満足感を持たせるように心がけています。吃音があっても，思いは伝えられること，吃音とうまく付き合っていく方法を共に探っていきます。

## 言語検査が始まります

１０月４日（木）から，甲府市内の小学校1年生全員を対象に，サポートルームの担当者が言語検査を行います。（検査のある日の午前中は，指導がお休みになります。）

2年生以上でも『ことば』について気になる子供さんがいましたら，この機会に御相談ください。

**吃音の集い**

「山梨に吃音のことを語り合える場所を創りたい」

去る６月２３日，吃音のある人のセルフヘルプグループとして活動している「言友会」主催の，「第１回　やまなし吃音の集い」が開かれました。吃音に関する講演や体験発表やグループトークなどが行われ，吃音があっても生き生きと自分らしく生きることについて学び合いました。第２回　吃音の集いが１１月１０日（土）に予定されています。参加についてのお問い合わせなど，詳しくは善誘館小学校サポートルームまで御連絡ください。

参考文献）吃音のリスクマネジメント　菊池良和著　学苑社